

地蔵になった男 宮沢芳重から 今、何を学ぶか



父親の反対のため進学できなかった宮澤は、上京して苦学を貫き、郷土に「郷立大学」をつくる夢を抱き、ニコヨンなど肉体労働をして、飯田市立図書館へ図書を贈り、飯田高校に天文台を設置する等、送金を続けましたが、志半ばで亡くなってしまいます。没後地元の人達は、芳重に学ぼうと「芳重地蔵」を建てて顕彰しています。

松下拓先生が書かれた「人間宮澤芳重」の復刻版が4月末に出版されました。(一部1,500円)

下
次
藤
井
松
下
拓
人
間
宮
澤
芳
重
—
その
原
因
の
生
涯
—

と き：平成29年6月2日(金)午後1時30分～3時
ところ：県飯田合同庁舎・3階講堂(飯田市追手町)
講 師：松下 拓 先生(宮澤芳重の会会長)

(公益財団法人)長野県長寿社会開発センターは「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を目指して設立されました。長野県シニア大学の運営も行っています。飯伊地区賛助会は、この趣旨に賛同した仲間の集まりです。「健康で生き生きとしたシニアライフになるように活動を行っています。この講演会もその活動の一つです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。※(無料)

(公財)長野県長寿社会開発センター・飯伊地区賛助会

連絡先 飯伊地区賛助会事務局 (電話) 0265-53-0464 (直通)